

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「クラブと地区の
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「しなやかな変化で
奉仕を高めましょう」



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー
2560地区ガバナー 新保 清久
高田ロータリー会長 橋詰 敏一
幹事 田中 正人

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守
小池 猛紀

第39回例会 ■ 4月27日(金)

No.39

会長挨拶 ● 橋詰 敏一



先週は、会長として初めて欠席させていただきました。私共、建築事務所協会の県の役員会と重なりました。代理いただいた水上副会長さん、ありがとうございました。当年度も残す所、2ヶ月となりました。もう2回お休みをさせていただく予定ですが、代理は本山直前をお願い致しました。

先日20日は、二十四節気の「穀雨」でしたが、今週まさしくその雨となり、草木の芽吹きも一気に進んだようです。季節は、新緑と藤やサツキ、つつじの花の季節です。先日、長野へ行きましたら、桜とリンゴと菜の花々がいっせいに咲いておりました。

明日からゴールデンウィークで9連休の方もいらっしゃるようですが、遠出・旅行には天気もそこそこよさそうです。私は、農作業(田植えの準備)です。

ニュースによれば、この期間85万人程の日本人が海外へ出国するそうで、うらやましいです。私は、海外旅行とは縁遠い人間ですが、今までで一番遠方は29年前の新婚旅行で行ったイタリア・フランスです。飛行機の国際線に乗ったのも、その時が初めてでした。

そんな事もあり、今年久々に国外に参ります。6月の国際大会(カナダ トロント)に東山・石倉・水上・大島さんとで行きます。久しぶりに、あのテイクオフ・タッチダウンの言いようのない感じが味わえます。

本日は、そんな「空」のお話を全日本空輸 新潟支店長さんより、お話しいただきます。

出席報告

出席率 96.23%

メイクアップ

橋詰敏一君・田中正人君・遠藤 巖君・岩崎幹男君・

杉山高男君・橋本眞孝君・福田 聖君・高坂光一君・本山秀樹君・堀井靖功君・山田 守君・牧野章一君・佐藤教彦君・佐藤 信君・箕輪賢一君・飯塚宏佳君・小池猛紀君・葛西 弘君(4/30上越市みどりのフェスティバル：社会奉仕事業)

セレモニー

入会式



葛西 弘君(岡三にいがた証券株 上越支店長)

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

高坂光一君——平成26年から5年間続けてきた「高田世界館人形浄瑠璃山椒太夫公演」もおかげ様で皆様のご支援の下、先日、一段落を迎えました。今後も地域文化の継続を目指しやわやわ努めて参ります。ご支援に感謝しスマイルします。

SAA——観桜会へのご参加ありがとうございました。

社会奉仕委員会——4/30上越市みどりのフェスティバル参加のご案内

米山奨学委員会——寄付のお願い

会員インフォメーション

大島 誠君——高田仲町ランチバルのご案内

佐藤信明君——お花とお茶と木のかほりのご案内

幹事報告

配布物：週報No.38・高田仲町ランチバル、お花とお茶と木のかほりパンフ

報告：第2回クラブ満足度アンケートのお願い(5/11必着)

卓話

ANA新潟空港路線の現状について

全日本空輸株式会社 新潟支店 支店長 鈴木 宏司 様



1. 新潟空港と ANA の歴史について

1952年12月27日 ANAの前身である、日本ヘリコプター輸送株式会社設立

※この時の社名の頭文字をとって、いまだに当社便名には「NH」を使用しています。

1958年6月15日 新潟＝東京間定期路線開設
※本年6月15日に就航60周年 人間で言うところの「還暦」を迎える記念の年、

1998年12月1日 新潟＝伊丹間定期路線開設
※本年12月1日に就航20周年 人間で言うところの「成人」を迎える記念の年となります。

2004年10月24日 新潟＝羽田間臨時便運航～2005年1月4日

※中越地震を受けての臨時便運航でした。この年の新潟空港年間利用者約150万人を上回ることが、長期的な目標となります。

2012年3月25日 新潟＝成田間定期路線開設
※就航より6年を経過。後程述べますが、当該路線の維持・増便が目下の課題です。

2. 新潟空港ご利用者実績 (H29年度：29年4月～30年3月)

・国内線・国際線合計で102万2千人(対前年比103.1%)にご利用頂きました。

※3年ぶりに100万人を超過。

・国内線：91万人(対前年比103.7%)で前年を超過。主要因は全体の約半数を占める伊丹線と札幌線の提供座席数の増加に伴う利用者増加と成田線の認知度向上による利用者拡大。

・国際線は11万2千人(対前年比99.1%)でH27年度から前年割れ。基幹のソウル線減便が影響も台湾線就航により昨年度並みを維持。

・ANAとしては、全路線合計で、ご提供座席数88万4千席(対前年比91.3%)に対し、59万5千人(対前年比98.6%)のおお客様にご利用頂きました。大阪(伊丹)線の間便機材小型化に伴い、搭乗率は67.3%(対前年差+4.9%)でした。また国内線全体における当社ご提供座席数のシェアは63.6%でした。

3. 新潟＝成田路線利用者実績の推移

2012年3月25日就航以来5年が経過し、利用率は年々上昇しており、路線維持に向けた利用率目標68%まであと一步。

＜路線維持に必要な利用者数＞

①年間提供座席数…約54,000席(74席×往復×365日)

②路線維持に向けた利用率目標…68%

③路線維持に必要な利用者数…37,000名となります。

世界各国23都市へ往復同日に且つ待ち時間も少なくお乗り継ぎいただけますし、新潟空港で荷物をお預けいただくと、海外空港までスルーでお届け。成田空港でも乗継専用受付ブースがございます。皆様是非、その利便性の高さを体験ください。

4. ANA 新潟支店の地域貢献活動

・すずらん行事

実施日：2017年6月1日(2018年は5月31日を予定)

内容：ANAグループが1956年(昭和31年)より実施している社会貢献活動で、北海道千歳市より空輸してきたすずらんをANAグループの客室乗務員が全国各地の赤十字病院等を訪問し、患者の皆様へ贈呈して励ますとともに、病院関係者の方の日々の労もねぎらう行事。新潟では、長岡赤十字病院で実施。

その他

・松浜小学校課外授業

・赤い羽根共同募金伝達式

・糸魚川火災義捐金

などを実施。ANAでは今後も新潟県の皆様への社会貢献も行ってまいります。

繰り返しとなりますが、県内唯一の空港、新潟空港からの夢のある「空の旅」を是非体験いただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上

上越市みどりのフェスティバルに参加しました

社会奉仕委員会

4月30日、社会奉仕事業として第20回上越市みどりのフェスティバルに18名にて参加し、コヒガン桜の苗木50本の無料配布を行いました。

